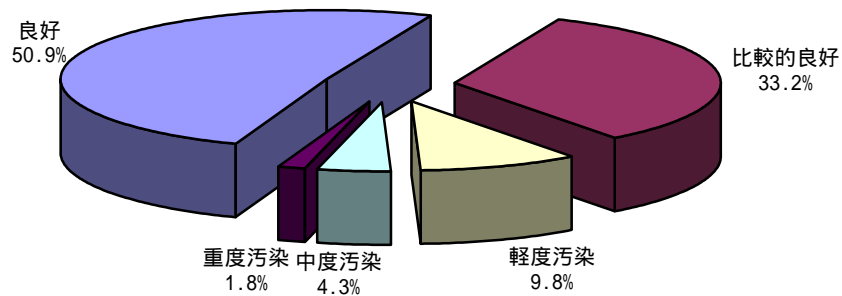


## 音環境

### 状況

#### 道路交通騒音

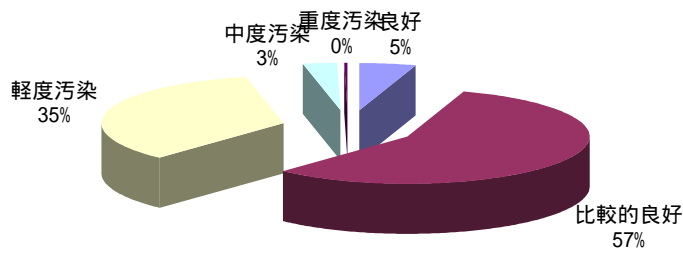
全国 328 の市(鎮)のうち、167 都市で道路交通騒音環境は良く、50.9%を占めた。109 都市の環境は比較的良好、33.2%を占めた。32 都市は軽度汚染に属し、9.8%を占めた。14 都市は中度汚染に属し、4.3%を占めた。6 都市が重度汚染に属し、1.8%を占めた。



都市道路交通騒音の汚染程度の比率

47 環境保全重点都市のモニタリング対象道路の延長はおよそ 6,903km、そのうち 2124.7km の路線で ENSO が 70 デシベル(A)を超えており、モニタリング対象路線総延長の 30.8%を占める。ENSO の平均は 63.8~72.3 デシベル(A)の範囲であった。道路延長も加重した道路交通騒音の平均 ENSO は 68.8 デシベル(A)であった。



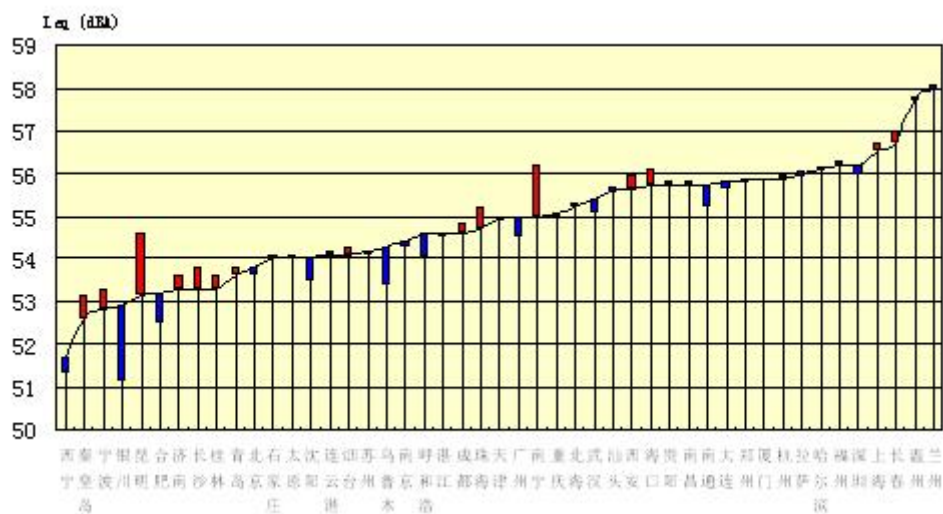


都市部地域的音環境汚染程度の比率

47 環境保全重点都市の環境騒音 ENSO は 51 ~ 58 デシベル(A) で、面積も加重した平均値は 54.8 デシベル(A)であった。

47 環境保全重点都市(ラサは未観測)の都市部地域的環境質は、総じて比較的良好及び軽度汚染に属する。都市部地域的環境質が比較的良好のレベルにあるのが 26 都市で、56.5% を占め、軽度汚染レベルが 20 都市、43.5%であった。

ENSO 変化の平均が 1 デシベル(A)であったことを判断根拠にすれば、47 環境保全重点都市のうち、昆明と南寧の環境レベルは昨年に比べ改善され。銀川は昨年よりある程度低下した。



## **措置と行動**

### **入試期間の騒音管理**

多くの受験生に静かな試験環境を提供するために、各地は高校入試と大学入試の期間における環境騒音管理の強化を継続した。特に建設工事の騒音管理を強化した。

### **騒音基準達成地区の建設**

国家環境保護総局による騒音基準達成地区の建設要請に基づき、全国にはすでに 3,534 の騒音基準達成区が建設された。面積は 2 万 1363.1 km<sup>2</sup>、前年比 4.8%増だった。